

I ♥ 北区



vol. 36
ギカイホウコク
08
AUG 2023

スタートライン に立った京都市 収支均衡達成 は実に22年ぶり!!



特集 2022年度決算
を徹底解説!

公開された政務活動費の収支報告書
昨年度の個人分の支出を用途別に発表

すがや浩平

京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

日本維新の会への入党を希望する。 選挙(立候補)に興味がある。 ポスター掲示を許可する。

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	Fax 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るかメールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。



日本維新の会 党員・候補者募集

日本維新の会では、党の綱領にご賛同いただき入党くださる方と立候補者を募集しています。入党には年額2千円の党費と審査が、立候補には公募申請がそれぞれ必要となります。詳しくは「京都維新の会」ウェブサイトにてご確認ください。 <http://kyoto-ishin.jp/>



毎月第2土曜日に議会報告会を行なっています。

私、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しております。是非ともお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

[日時] 毎月第2土曜日夕方5時～6時 [場所] 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力のお願ひ (ポスター/A2サイズ タテ594mm×ヨコ420mm)
ご自宅などの外壁・窓ガラス・フェンスなど、ポスターの掲示を許可していただける場所を探しています。

▲ポスター(A2サイズ)

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章及びデザインの無断転載、借用、複製は禁じられております。

発行元 菅谷浩平 京都市議会議員事務所
問い合わせ先 〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1 Tel 075-493-6564

次号予告 2023年9月24日(日)発行予定

2022年度決算を徹底解説!

01 2022年度・京都市決算概況

一般会計は22年ぶりに特別の財源対策から脱却し黒字決算を達成! 実質収支は過去最高の77億円
水道・下水道事業はプラン目標を下回るも黒字を確保! 市バス・地下鉄事業は3年連続の赤字決算に:

京都市の門川市長は8月2日、2022年度の市の決算概況を発表した。昨年度の市の一般会計は、歳入が約9621億円(前年度比9・3%減)、歳出が約9464億円(前年度比11・8%減)となり、歳入から歳出と翌年度に繰り越す財源を差し引いた実質収支は、過去最高の約77億円の黒字となった。

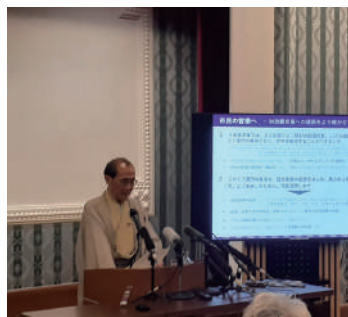
市の一般会計は赤字である収支不均衡の状態が2001年度から続いており、市は特別の財源対策として、2002年度からは資金手当てのための行政改革推進債を発行し、2005年度からは将来の借金返済のために積み立てている公債償還基金の計画外の取り崩しを始め、2020年度からは国

からの地方交付税措置がされない調整債も発行するなどして、赤字の穴埋めをほぼ毎年のようになってきた。

しかし、昨年度の決算では、法人市民税や国からの地方交付税は減少したものの、地価の上昇に伴う固定資産税や市民の所得増に伴う個人市民税の増加などに加え、観光客の回復による宿泊税の持ち直しなどもあり、市税収入は約3119億円と過去最高を記録した。また、市の行財政改革計画に基づき、職員数や時間外勤務を減らしたことによる人件費の削減や、敬老乗車証の負担金の引き上げや民間保育園への補助金削減など福祉サービスの見直しなどをおこなった結果、市は21年ぶりに

特別の財源対策から脱却し、2000年度以来となる22年ぶりの黒字決算となった。

ただし、市がこれまで計画外に取り崩してきた公債償還基金の不均衡は約505億円にものぼり、市は2023年度から毎年平均して35億円を基金に積み戻していく、2038年度をめどにできるだけ早期に完済を目指すという新たな目標もようやく示された。



▲昨年度の市の決算概況について説明する門川京都市長

このほか、公営企業会計では、市上下水道局の水道事業の純損益が約36億円の黒字、下水道事業の純損益が約34億円の黒字だったのに対し、市交通局の市バス事業の経常損益は約8億円の赤字、地下鉄事業の経常損益は約7億円の赤字だった。

市上下水道局は、両事業とも黒字を確保したものの、電気代の値上げや物価高などの影響により、実質的な利益は中期経営プランで掲げた目標を下回った。また、市交通局は、両事業とも3年連続の赤字となったが、地下鉄事業は新型コロナウイルス禍で減った乗客数の回復や国の財政支援により、想定より2年早く経営健全化団体から脱却する見通しとなった。

公開された政務活動費の収支報告書 昨年度の個人分の支出を用途別に発表

6会派・66名の議員らに交付された政務活動費:
広報広聴費や事務所費などに約455万円を支出

京都市議会は7月28日、2022年度の政務活動費の収支報告書を公開した。昨年度に会派・議員に交付された計4億1418万円の政務活動費のうち、支出額は約3億2824万円だった。

市議会では政務活動費として、所属議員1人あたり月14万円を会派に、月40万円を議員個人に経費として前払いで交付し、使われずに残った分は市に返還されることになっている。

昨年度は、会派分として6会派に計1億458万円が交付され、支出額は約9969万円で、返還額は約489万円だった。また、個人分として66名の議員らに計3億960万円が交付され、支出額は約2億2854万円で、返還額は約8106万円だった。

わたし個人の昨年度の政務活動費は、480万円の交付額に対し、支出額が455万1248円で、返還額が24万8752円だった。支出の主な内訳は以下の通り。

- ▽広報広聴費(議会報告ほか) 231万831円
- ▽事務所費(家賃ほか) 188万7579円
- ▽通信運搬費(電話・インターネットほか) 29万2038円
- ▽資料購入費(新聞) 5万4000円
- ▽資料作成費(質疑用パネル) 1万4000円

政務活動費の収支報告書や領収書などの写しは、中京区の市役所本庁舎2階にある議会図書・情報室のほか、市議会のホームページで閲覧ができる。

京都市議会議員・北区
菅谷 浩平 (36)



所属政党/日本維新の会
党の役職/京都府総支部幹事長代理
地域活動/消防団・少年補導・子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社で営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記 Editor's note

京都市の一般会計について、これまでは歳出が歳入を上回る状況が続いていたが、昨年度は22年ぶりに実質収支が黒字となった。2021年8月に市が行財政改革計画を策定した当時、門川市長は収支均衡の達成には10年以上かかることを言っていたが、わたしは2年前の代表質問で、橋下徹元大阪府知事の改革を例に挙げ、門川市長の任期中に将来世代への負担の先送りではない公債償還基金の取り崩しをやめ、その復元に着手すべきだと提言した。市は22年ぶりに収支均衡を達成したことでようやくスタートラインに立ったと言えるが、道半ばの財政再建をわたしも必ず実現させたい。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所

〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1
Tel 075-493-6564
Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp



www.sugayakohei.com

@sugayakohei facebook.com/sugayakohei @sugayakohei